

# 報 告

# あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 No.129号

## 町の人口

(6月30日現在)

総人口	8,919人
男子	4,188人
女子	4,731人
世帯数	2,674世帯



写真は集中豪雨で崩壊した徳人原の道路

## 無情の雨

### 町内に被害もたらす

七月三日からふり出した集中豪雨で、町内の被害箇所は40件にのぼり、これまでにない大きな被害をもたらしました。

町消防本部は災害を最小限にいとめるべく必至になって防災体制をひきましたが、この雨は七日から無情の雨にかわり、被害通報の電話のベルが、間をおくことなく鳴りひびき町は、対策本部をひき対策の編成を組替えるなど、万全な対策をたてました。

対策本部員や、役場職員は、連日夜を徹して、住民の財産や生命を守るため、排水作業や、危険箇所を土のうで補修するなど厳重な警戒体制をひいて防災の対策にあたりました。

#### 伏原地区で自警団を編成

伏原地区では、住民の安全を守るため、自警団を組織して、交替で夜を徹して警戒するなど、町ぐるみの地域防災対策をひきました。

#### 家屋の全壊三戸

特に被害の大きかった市場の木村締夫さん方は床下に亀裂が入り、土間が隆起して倒壊寸前になり、避難しました。

又徳人原の桑野さん方の横の道が崩壊し、中尾町の竹中鴨川、家島、福島、松尾さん方の前の道路が崩壊し、床下の土がえぐりとられ、災害の恐ろしさをまざまざとみせつけられました。この災害で親せきや、友人宅に避難しました。本町と貴船では約百戸の住家の床下が浸水しました。

この地区は彦山川より地盤が低いため、貴船や大和町のポンプ座が多量の雨量のため増水して流れ込んだもの町ではこの地区の道路の通行を禁止するため縄を張りましたが非常識な通行人は、縄を切つて通行していましたが、このような危険をおかしてまで通行しないようにしていただきたい。

災害による被害状況は次の

とおりです。

- 住宅全壊 三戸
- 住宅半壊 三戸
- 非住宅全壊 三戸
- 非住宅半壊 一戸
- 田畑流失埋没 十アール
- 田畑冠水 八十ヘクタール
- 床下浸水 約百戸
- 道路崩壊 十七ヶ所
- 崖くずれや、土砂くずれ 四十二ヶ所
- 社会福祉協議会へ次の方が寄附されました。
- 皆川正信氏(下町)が災害見舞金を
- 斉藤二郎氏(九支所)が救援物資を

### 新しい農業委員

#### 決まる

(敬称略順不同)

#### 当選委員

- 大田 正一
- 池田 幸道
- 矢島 武彦
- 柴田 繁松
- 平元 新松
- 日高 重松
- 坂高 龍次郎
- 日野 龍男
- 長野 龍次郎
- 島上 龍男

#### 推せん委員

- 池田 勝
- 立花 杉夫
- 大森 高市
- 小松 政清
- 木村 由夫